

高松市で民泊開業に使える補助金

印刷用まとめ | 2026年8月17日時点

民泊の営業形態によって利用できる制度が変わります。特に、住宅宿泊事業法による「民泊」と、旅館業法による「簡易宿所」では対象制度が異なるため、申請前に営業形態を確定することが重要です。

1. 主な候補制度

制度名	目安・上限	向いている用途	民泊との相性
高松市 高松中央商店街 創業新規出店補助金	最大100万円	商店街の空き店舗への新規出店、改装・設備等	高い ※対象エリア限定
小規模事業者持続化補助金 ＜創業型＞	国の創業者向け制度	ホームページ、広告、看板、販路開拓、一定の設備・外注等	高い
香川県 宿泊施設DX推進事業補助金	県補助 最大250万円	セルフチェックイン、予約管理など省力化・DX	簡易宿所向け 住宅宿泊事業は対象外
香川県 持続可能な観光地域づくり 支援事業補助金	最大200万円	宿泊＋体験型観光コンテンツの造成	企画内容次第 ※2026年度募集終了
高松市 お試し移住促進事業補助金	宿泊事業者 1利用者5,000円等	開業後の移住希望者受入れ・まち案内	開業費ではなく集客 支援

2. 特に優先して確認したい制度

① 高松中央商店街の物件なら「創業新規出店補助金」

高松中央商店街の空き店舗に新規出店する創業者向け。通常枠のほか、一定の創業支援を受けるなどの要件を満たす場合は補助率1/2・上限100万円となる制度があります。対象エリアに物件がある場合は最優先で確認する価値があります。

② 「小規模事業者持続化補助金＜創業型＞」

民泊・ゲストハウスの集客強化と相性が良く、ホームページ制作、広告、看板、多言語対応、販促物、一定の設備導入・外注などを事業計画に組み込める可能性があります。創業時の販路開拓費を幅広く検討したい場合の有力候補です。

③ 簡易宿所なら「宿泊施設DX推進事業補助金」も候補

セルフチェックイン設備や予約管理システムなど、人手不足対策・省力化に向く制度です。ただし、住宅宿泊事業法による民泊は対象外とされており、旅館業法の許可を受けた宿泊施設が主な対象です。

3. 営業形態で変わるポイント

項目	住宅宿泊事業法の民泊	旅館業法の簡易宿所
営業日数	原則 年間180日以内	許可条件に従い通年営業が可能
宿泊施設向け補助金	対象外となる制度がある	対象となる制度が比較的多い
向いているケース	副業型・限定営業・小規模運営	本格的な宿泊事業・年間営業

4. おすすめの検討順序

- 1. 物件住所が高松中央商店街の対象区域か確認する。
- 2. 民泊新法（住宅宿泊事業）か、簡易宿所営業かを決める。
- 3. 創業型の持続化補助金で、HP・広告・設備等をどこまで申請対象にできるか確認する。
- 4. 簡易宿所であれば、香川県・国の宿泊施設向けDX・観光関連補助金を追加確認する。
- 5. 補助金は原則として「交付決定前の契約・発注・支払い」が対象外になることがあるため、工事や設備購入を先に進めない。

5. 申請前に整理しておく情報

- ☐ 開業予定地（町名・物件住所）
- ☐ 持ち家／賃貸
- ☐ 戸建て／マンション／店舗等の物件種別
- ☐ 住宅宿泊事業か簡易宿所か
- ☐ 改装予定額
- ☐ 家具・家電・チェックイン設備などの設備予定額
- ☐ ホームページ・広告・写真撮影等の販促予定額
- ☐ 開業予定日

参考：主な公式情報

- ・高松市「高松中央商店街創業新規出店補助金」
- ・中小企業庁「小規模事業者持続化補助金＜創業型＞」
- ・香川県「宿泊施設DX推進事業補助金」
- ・香川県「持続可能な観光地域づくり支援事業補助金」
- ・高松市「お試し移住促進事業補助金」
- ・観光庁「民泊制度ポータルサイト」

※補助金は予算、募集期間、対象要件、併用可否などが変更される場合があります。申請前に必ず各制度の最新公募要領と担当窓口で確認してください。